



おおぞら

ぎがい



●4月4日、女満別幼稚園にて入園式が行われました。

特集!

大空町議会として初! 議会行政視察調査報告会を開催 …… P2・3

●議会基本条例策定特別委員会の設置 …… P4

より開かれた議会を目指し、議会基本条例制定に向けた検討を開始する!

■その他トピックス

- ・平成23年第1回定例会(予算審査特別委員会・定住自立圏形成協定調査等特別委員会)
- ・産業建設常任委員会行政視察報告(2/9~10) ・委員会活動レポート ほか

町民と議会との触れ合いや話し合いが大事。視察報告にこだわらず集まってもらえば、町民と議会との距離が近くなるのではないかと。町民の意見を聞き、反映させていくのが地方議員の役目。たくさんの町民が参加できる体制・方法を検討してほしい。

旧東藻琴国保診療所施設を活用し、障がいがある方向けの施設整備を進めるそうだが、高齢者の福祉部門にも活用されればと考える。

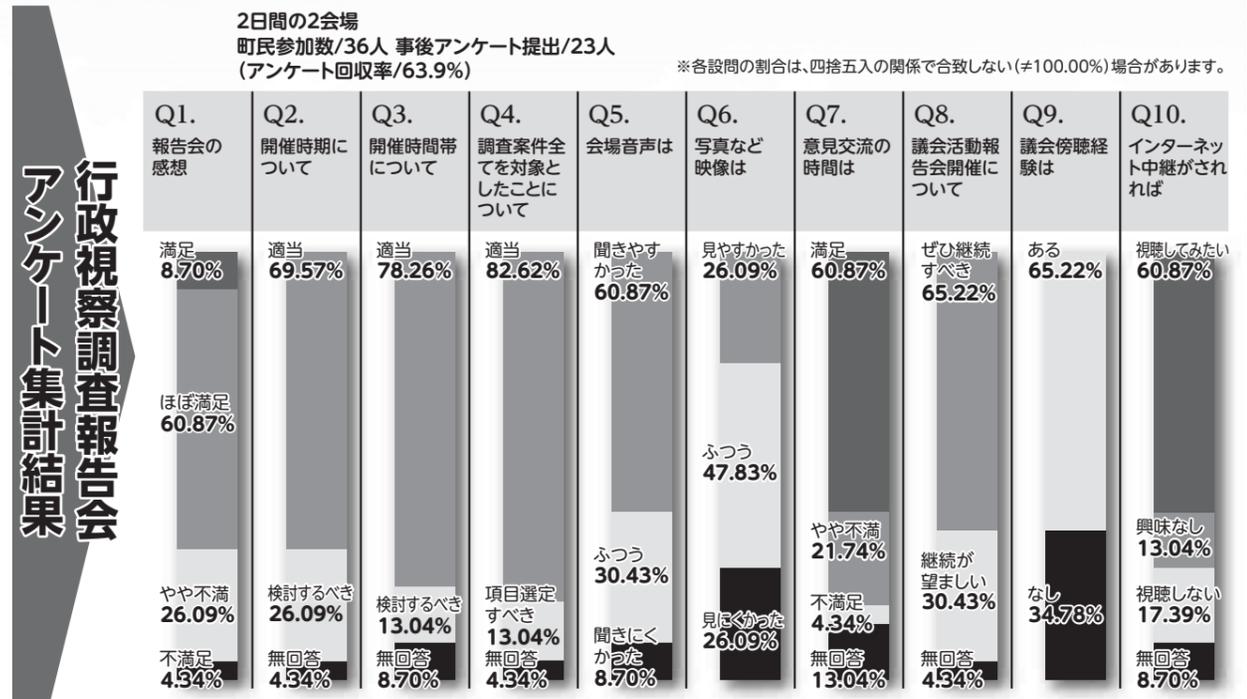
東藻琴地区にも道の駅のような拠点施設整備を計画し、委員会を設けて検討しているようだが、今回の報告会のようにたくさんの人の意見を聞き、それをまとめた上でそれぞれの代表による委員会をつくり、検討するほうが効率的ではないか。

A.最初の試みである。本報告会を議会としても勉強とし、課題を持ち帰り検討することで、今後の取組につなげていきたい。

A.平成23年度に改修などが行われ、H24.04.01供用開始の見込。高齢者施策のアンケートを行うとも聞いており、現行施設を活用しながら検討されていくのではないかと。高齢者の見守りについて、気持ちは十分わかる。行政とともに注視していきたい。

A.『まちづくり住民懇談会』の中で検討を重ねている。いろいろな意見を聞きながら、道の駅に限らず地域にマッチングしたいものをつくるため、検討が必要かと思っている。

●これらの集約した意見は、行政側にもお知らせしております。



アンケート調査によるそのほかの主な意見

- ◆開かれた議会の第一歩だと思う。情報公開の時代であり、大変よかった。
- ◆町民の意見をくみ取る努力をするべき。
- ◆開催そのものはすばらしいが、視察報告以外の内容も検討してほしい。
- ◆報告の前段、視察に至るまでの経過説明があれば、報告が生かされるのでは。
- ◆大勢の住民が参加するよう、PRの工夫が必要。
- ◆研修内容を議会運営に反映させ、よりよいまちづくりをしてほしい。

御紹介したほか、会場、事後アンケートの中で貴重な御意見を多数いただきました。ありがとうございます。
議会側としても初の試みということで、皆さんの御協力により勉強させていただいた部分が多くあります。
町民との触れ合い、接する機会を増やすということが大事なことの御意見が、多く寄せられました。
今回の行政視察調査報告会をきっかけに、さらなる「開かれた議会」を目指し、町民皆さんとの触れ合いを大事に、町民・議会・行政が一体となり、「協働」してまちづくりが進められるよう、議会としても努力していきたいと思っております。これまで以上の御理解と御協力をお願いします。

本町議会初の試み！ 行政視察調査報告会を開催しました！

女満別会場 (大空町議事堂文化ホール)	東藻琴会場 (ふれあいセンターフロックス)
開催日：平成23年2月17日(木) 開催時間：18:30～20:45	開催日：平成23年2月18日(金) 開催時間：18:30～21:00
参加下さった町民の方々 19人	参加下さった町民の方々 17人

報告内容 ～研修の主なテーマ～

産業建設常任委員会(道外視察)	総務文教厚生常任委員会(道内視察)
視察先と調査テーマ	視察先と調査テーマ
<ul style="list-style-type: none"> ① 千葉県南房総市 <ul style="list-style-type: none"> ●観光交流と地域産業・文化の振興 ◆道の駅中心の観光力・集客力向上対策～合併後の産業振興・地域間協力について～ ◆第1回産業まつりの開催経過 ◆プレミアム商品券発行の現状と効果 ② 東京都稲城市(友好姉妹都市) <ul style="list-style-type: none"> ●地域商業振興・商店街活性化の取組状況 ③ 東京都内 大田市場・東京青果株 <ul style="list-style-type: none"> ●青果市場の動向 ④ 神奈川県横浜市 <ul style="list-style-type: none"> ●ボッシュ株横浜事業所 ●誘致企業と地方自治体との連携協力事業 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月形町 社会福祉法人 <ul style="list-style-type: none"> ●障がい者自立支援施設の運営 ② 余市町役場 <ul style="list-style-type: none"> ●定住自立圏構想 ③ 小樽市 <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人後志報恩会 和光学園 ●障がい者支援施設・障がい者福祉サービス事業 ④ 札幌市 <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人ほくろ福祉協会 特別養護老人ホーム緑愛園 ●老人福祉施設改修の状況

町民皆さんとの対話と、より開かれた議会を目指し、本町議会に設置されている総務文教厚生・産業建設両常任委員会が行った行政視察調査の内容を報告する「行政視察調査報告会」を本町議会初めての試みとして開催いたしました。

両常任委員会の行政視察調査は、本町の抱える課題に関連した先進取組事例などを調査の上ヒントを得て、議会としても積極的にまちづくりにかかわっていかうというスタンスで行っております。



報告会での主な質問・意見と回答

町民皆さんからの質問	議会側の回答
視察は、何かを取り入れようとして行うもの。調査事項をどのように活かしているか、具体例を挙げてほしい。	A.先進事例と同じではなく、大空町のニーズに合う形につくりあげることが課題。
視察先の状況報告だけでは意味をなさず、調査内容を町につなげてこそ、初めて意味をなすもの。費用対効果も考えるべき。	A.視察で得た情報は、行政にも伝えている。
視察先や近隣町村と比較し、本町の高齢者福祉対策などは満足の内容か。	A.障がい者対策の部分では、本町に核となる部分がなく、課題解決の必要がある。高齢者対策としては充実させる必要がある部分もあるが、生活支援ハウスや特別養護老人ホーム、女満別中央病院があるなど、対策として一貫しているのではないかと。
こういう形で報告会が開催されてよかった。議会広報誌に報告書載せて終わりというやり方は、好ましくない。情報公開の時代であり、住民の意見を取り入れながら、こういった機会を増やすべき。	A.議員の視点を増やすことも視察の目的であり、一般質問などで行政へ投げかけ、反映させなければならないと考える。

議会の基本的事項を定める 条例制定の検討を開始!



議会基本条例策定特別委員会 (平成23年4月28日設置)

委員長	植田 泰弘	副委員長	齋藤 宏司
委員	田中 勝吉	委員	小島 一弘
委員	勝田 鉄城	委員	深川 昇行
委員	松岡 克美	委員	松田 信行
委員	近藤 哲雄	委員	中堀 君子
委員	品田 好博		

(議長を除く11人で構成)

『議会基本条例策定 特別委員会』を設置

【平成23年第1回臨時会】

平成23年4月28日に開催された平成23年第1回臨時会において、植田泰弘議員ほか5名の議員から提案された「議会基本条例策定特別委員会設置に関する決議」が全議員の賛成により可決され、「議会基本条例策定特別委員会」が設置されました。
今後、議会の基本的事項を定める条例の内容など、特別委員会の中で検討していくこととなります。

「議会基本条例」って何？

議会基本条例は、議会に関する基本的事項を定めた条例をいいます。

「地方分権」が進められて市町村などの権限が拡大してきたことにより、地方議会の役割も大きくなってきました。それに対応するため、議会改革を継続し発展させることなどを目的に、こういった条例制定の動きが全国的に加速してきました。既に制定されている事例では、住民の声を聞き、多様な意見を反映させて住民本位の議会とするといったことや、町長など行政側との関係を明確にするといった内容が盛り込まれています。

本町では、自治基本条例検討委員会において、自治体の憲法ともいわれる「(仮称)自治基本条例」の制定に向けた検討がされています。これを受けて、本町議会では議員が主体となり「議会基本条例」策定に向けた検討を開始することが確認されました。

- 平成22年7月7日から9日の議会運営委員会道内視察調査において、議会基本条例に関する先進事例等の調査を実施する。
- 平成22年11月12日の議員協議会において「ア.議会基本条例策定に向けた準備作業を行う。」イ.同条例素案の作成を議会運営委員会が担い、素案提示後、その後の検討方法を協議する。」ことが、全議員により確認される。
- 平成23年1月26日の議員協議会において、議会運営委員長から全議員に対し、議会基本条例素案の検討経過が説明される。
- 平成23年3月15日の議員協議会で、議会運営委員長から条例素案が示され、条例策定に当たっては、特別委員会設置の上、示された

素案をもとに内容を検討することが確認される。

⑤ 平成23年4月28日の平成23年第1回臨時会において、議会基本条例策定特別委員会の設置に関する決議が可決され、特別委員会が設置される。

議員みずからが条例策定に携わり『住民に開かれた議会、より一層の議会活性化』を目指します。平成24年4月1日から条項が適用されるよう、議会基本条例策定特別委員会の中で、先進事例などを参考に多方面から調査し、自治基本条例検討委員会で進められている「(仮称)自治基本条例」の検討内容も踏まえながら協議していきます。

そのほか、平成23年第1回臨時会では、次の案件が決まりました。
※ 詳細は、両地区図書館備えつけの会議録を御覧ください(議会ホームページにも掲載しております。)

平成22年度一般会計予算補正の主な内容

【歳入(収入)】	【歳出(支出)】
●地方交付税 +2,697万円	●財政調整基金・公共施設等整備基金
●安全・安心な学校づくり交付金 +4,017万円	●地域福祉基金・学校教育施設建設基金への積み立て(貯金)
●学校教育建設基金繰入金 △1,020万円	合計 +2,995万円
●女満別小学校整備事業債(町の借入金) △2,990万円	

⑤ 平成23年3月に開催された第1回定例会以降、地方交付税や国からの交付金額確定、寄附があったことなどにより、専決処分された平成22年度一般会計補正予算を承認しました。
この補正により、予算総額が2,995万円増の8億8,276万円となりました。

一般会計補正予算の専決処分を承認

被災地の支援経費を補正

3月11日に発生した東日本大震災被災地への対応として、職員の派遣、車両の送致、被災地から本町へ避難されている方の対応に関する経費を盛り込んだ平成23年度一般会計補正予算を可決しました。

この補正により、予算総額が977万円増の73億3,573万円となりました。

緊急質問の申し出がありました

品田好博議員から、新規事業として本年度からスタートした「住宅リフォーム促進事業補助制度」(補助対象期間3カ年度)のことで緊急質問したいと、議長に対して申し出がありました。

臨時会の中で、議事の日程に追加し、緊急性があることから、ただちに緊急質問することを認める事項かどうかを審議された結果、賛成少数により否決されました。
住宅リフォーム事業に関する内容については、産業建設常任委員会において随時担当より説明等を受け、調査している経過もあります。



町民からの救援物資受付の様子



一口メモ

①「専決処分」とは？

議会で議決・決定されなければならない事柄を、地方自治法の規定に基づき、町長(地方公共団体の長)が議会での議決・決定の前にみずから処理することで、専決処分には地方自治法第179条に基づくものと第180条に基づくものの2種類があります。

◆179条に基づく専決処分⇒議会が成立しないときや、緊急的で議会を開く時間的余裕がないときなどに認められ、処分後は議会の承認を求めなければならない。

◆180条に基づく専決処分⇒あらかじめ、議会で長が専決処分できるものとして指定された事件。処分後、長は議会に報告しなければならない。

②「緊急質問」とは？

議員の職務を遂行するための主要な権限の一つである「発言権」の中に「質問」があります。

「大空町議会会議規則」では、「一般質問」と「緊急質問」の2種類が規定されています。一般質問は、議長の許可を得て定例会で行われるものですが、緊急質問は議会で同意が得られれば、定例会でも臨時会でも行うことができます。

ただし、緊急質問は、天災地変、その他不時の事故等が発生するなどの緊急性があるときに特例的に認め、ほかの審議に優先して行われるものであり「臨時会での緊急質問は例外的な扱いであることから、とくに客観性が要求され、乱用することがないように運用してほしい。」という見解(「議会運営の実際」より引用。)も示されています。



山下町長

平成23年第1回定例会

平成23年3月8日から15日までの8日間の会

常にチャレンジする強い気

町政執行方針～町長の町政に臨む基本的考え方と事業・各会計予算の概要説明～

平成23年第1回大空町議会定例会にあたり、山下町長から平成23年度に向けた町政への基本的考え方と事業・予算の概要が示されました。

【まちづくりに臨む基本的考え方（町政執行方針要約）】

- 地域主権は民主主義の根幹を成すべきものであり、実現のため、町民皆さんの自主的なまちづくり参画が欠かせない。町は的確な情報提供、機会確保、活動を支える役割を担う。
- 子育てや教育は人づくりであり、地域社会が責任をもって取り組まなければならない課題である。地域として一貫性のある活動に取り組み、必要とされる人材の確保と環境の整備を進める。
- 農業農村整備事業の計画的推進と喫緊の課題解決に努める。
- 造林意欲の向上を目的に、取組の充実を図る。
- 商工業や観光の地域循環の仕組みづくりが急務。関係団体の取組を積極的に支援し、航空利用者の増加対策と空港そのものの活性化に取り組む。
- 年代、性別、職業などを越え、さまざまな立場の人たちが、幸せを実感できる環境を整備するとともに、関係団体とも連携を深め、仕組みづくりを行う。

【主な事業・予算】

本定例会に提案された平成23年度の事業・予算の主なものを、大空町総合計画の基本目標と照らし合わせ紹介します。

基本目標 1

【はつらつ産業のまちづくり】

・ 農業関係資金対策事業	1,494万円	・ 町民ビッグデー開催事業	300万円
・ 農業・農村基盤整備事業	1億8,270万円	・ 藻琴山温泉芝桜公園整備事業	4,716万円
・ 21世紀北の森づくり推進事業	1,746万円	・ メルヘン観光交流センター整備事業	336万円
・ 住宅リフォーム促進事業	1,200万円		
・ ポイントカード事業	500万円		
・ 道の駅振興事業	261万円		
・ 芝桜まつり・ふるさとまつり開催事業	520万円		



基本目標 2

【あったか福祉のまちづくり】

・ 健康増進事業	1,071万円
・ 各種疾病予防対策事業	2,389万円
・ 母子保健事業	985万円
・ 女満別中央病院医療環境等充実事業	4,154万円
・ 障害者自立支援事業	1億3,442万円
・ 障害者福祉施設整備・運営事業	1億3,957万円

期で、平成23年第1回定例会が開催されました。

持ちを持って、町政の執行にあたる

基本目標 3

【のびやか文化のまちづくり】

・ 女満別小学校改築事業	4億3,130万円
・ 東藻琴中学校大規模改修事業	525万円
・ 学校給食センター強化磁器食器切替事業	1,611万円
・ 外国語指導助手招致事業	585万円
・ 学校芸術文化鑑賞事業（学校教育振興事業）	290万円
・ 高等学校教育振興事業	561万円
・ スクールバス運行事業	7,287万円
・ 高校通学対策助成事業	252万円



基本目標 4

【さわやか生活のまちづくり】

・ 花いっぱい運動推進事業	291万円
・ ごみ処理事業	1億8,183万円
・ 町営住宅維持補修事業	1,024万円
・ 町営住宅長寿命化計画策定（町営住宅管理一般事務）	557万円
・ 新設団地調査設計委託（新設団地建設事業）	485万円
・ 町道維持補修事業	9,726万円
・ 除雪対策事業	7,942万円
・ 河川管理事業	597万円
・ 道路整備事業	1億8,073万円
・ 都市公園管理運営費	2,121万円

基本目標 5

【ふれあい協働のまちづくり】

・ 元気づくり応援事業	150万円
・ 広報等作成委託（広報広聴事業）	840万円
・ 自治会活動支援交付金	372万円



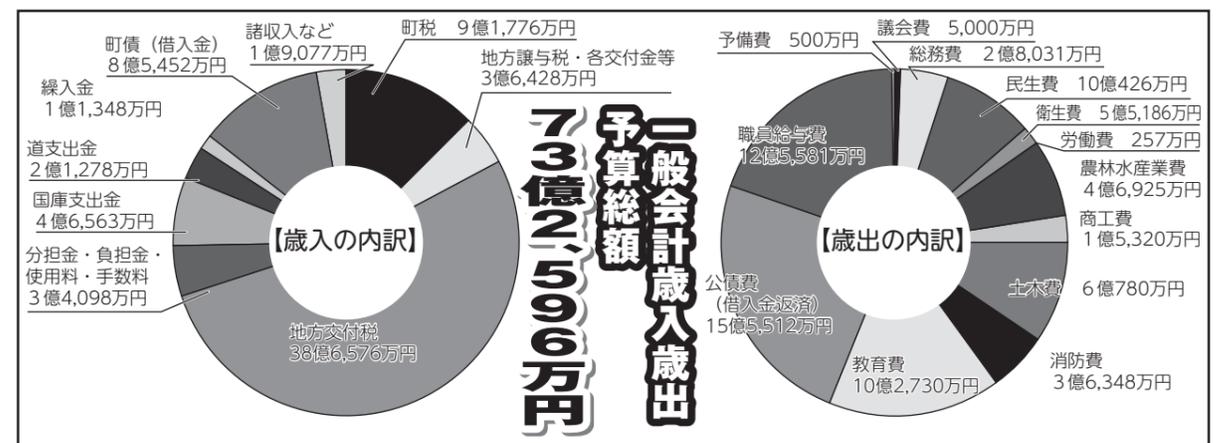
地域社会の閉塞感を打開するため、一人一人が 元気を取り戻し、明日の希望を語るように！

～『町民の元気づくりを支援する』平成23年度予算を探る～

本定例会に提案された平成23年度各会計予算は、本会議において設置された「予算審査特別委員会」（委員長 田中勝吉議員）に付託し、審査することとされました。
本委員会で審議の結果、各会計予算すべて委員全員の賛成により可決すべきものとされ、田中勝吉特別委員長が本会議の場で審査結果を報告し、原案のとおり可決されました。

＜平成23年度 各会計予算額及び委員会の採決状況＞

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比	採決状況
一般会計	73億2,596万円	80億4,893万円	△7億2,297万円 (△9.0%)	賛成全員
国民健康保険事業特別会計	11億3,631万円	12億2,257万円	△8,626万円 (△7.1%)	賛成全員
老人保健特別会計	会計廃止	15万円	皆減	
後期高齢者医療特別会計	9,117万円	9,514万円	△397万円 (△4.2%)	賛成全員
介護保険事業勘定特別会計	6億3,247万円	6億42万円	+3,205万円 (+5.3%)	賛成全員
介護サービス事業勘定特別会計	848万円	867万円	△19万円 (△2.2%)	賛成全員
簡易水道事業特別会計	4億704万円	3億4,220万円	+6,484万円 (+18.9%)	賛成全員
下水道事業特別会計	3億3,682万円	3億4,544万円	△862万円 (△2.5%)	賛成全員
個別排水処理事業特別会計	2,940万円	2,805万円	+135万円 (+4.8%)	賛成全員
合計	99億6,765万円	106億9,157万円	△7億2,392万円 (△6.8%)	



予算審査特別委員会での審議概要

※詳細は、両地区図書館に備えつけの会議録を御覧ください(議会ホームページにも掲載しております)。

一般会計 歳入

〔**小島委員**〕 前年度比10万円減の79万円とのことであるが、北海道で額を減らしたのか、町でこれしか要らないと言ったものなのか。

建設課長

両地区で使っている小型ロータリーの馬力数が、東藻琴100馬力、女満別80馬力と違うことにより、平成22年度までは東藻琴地区の積算単価が女満別地区と比べ約4,000円高かった。能力的に差がないことから、平成23年度は80馬力相当の統一単価で積算し、10万円ほど下がっている。

一般会計 歳出

〔**ポイントカード事業**〕 行政が出すポイントカード事業



いこいの広場公衆トイレ

植田委員

いこいの広場公衆トイレの障がい者用ところがウォシレットではなく、障がい者用トイレにだけは、ウォシレットを備えてもらいたい。町長 配慮しながら整備する必要があるだろうと考えている。



女満別中央病院

〔女満別中央病院医療環境等充実事業〕

〔**植田委員**〕 助成するのはいいが、患者さんからのこうなったらいいのでは、という意見を町側も吸収し、病院側に伝えるべきではないか。

福祉課長

そういうお話をいただければ、町からも病院側へ伝えていきたい。

副町長

町民の意見を集める大きな場のふれあいトークの中で直接声を聞き、定期的に病院との懇談の場を設けて意向を伝えていきたい。

〔**広報広聴事業**〕 広報等作成

委託料で840万円とのことだが、印刷会社へ原稿を渡し作成という今までのやり方が、なぜ無理なのか。業務委託に出す理由を整理してほしい。従来型で、地域経済も考慮するよ

総務課長

町民の方に見やすい編集をする意味では、専門的な部分で表現等についても知識を持っているところをお願いしていくことがいいかと思っている。

地域の方々に用紙等も納入いただいているが、省力化することも大きな地域経済になるのではないかと。全体的経費などを含め、委託を進めるのが適当だろうと考えている。

副町長

町民の方がいろんな情報を得るのは、広報誌かと思うっており、専門的な見地で記事を書いていただくことが、わかりやすいのではないかと。中身については整理した中で、見やすい広報誌に今後も努めていきたい。

〔**観光協会行事補助金**〕 各種団体等への負担金は、観光協会補助金の中で支払われるものと思っていたが、中身的には観光協会行事補助金の中で支払うとのことであった。この予算科目の計上の仕方がどうなのかお聞きしたい。

〔観光協会行事補助金〕

〔**小島委員**〕 各種団体等への負担金は、観光協会補助金の中で支払われるものと思っていたが、中身的には観光協会行事補助金の中で支払うとのことであった。この予算科目の計上の仕方がどうなのかお聞きしたい。

産業課長

3町広域観光協会など各種団体等への負担金は、その行事を展開するにあたり必要なもので、観光協会行事補助金に組むことが適切との判断である。

〔学校管理関係の消耗品購入(全体に及ぶ事項)〕

〔**小島委員**〕 消耗品の購入に当たっては、町への登録業者から買っているという話が担当者からあったが、町外業者からも買っている実態を知っているのか。どんな考えでいるのか。

〔**学校管理課長**〕 各学校へ地元消費を強く指導

表彰

議会議員として長年在職し、地方自治の振興発展に寄与・貢献された功績により、田中勝吉議員(副議長)が全国町村議会議長会から表彰を受け、平成23年第1回定例会(3月8日)の開会前に表彰状が伝達されました。同様に、森進元議員、森田暢明元議員、元木良一元議員におかれましては、表彰されており。おめでとうございます。



しているが、教材の専門性・特殊性から手配がつかないものがあるが、町外業者へお願いしている部分もある。

総務課長 法律や財務規則の規定があり、物品の場合、予定価格が80万円以下の場合には業者登録がなくても発注機会を与えている。特に届けがなくても、町内業者で取り扱いや納品実績があれば発注することとしているが、町内業者で取り扱えない場合は町外に発注する場合もある。



ビッグデーイベントを楽しむ子供たち

町民ビッグデー実行委員会交付金
小島委員 町民ビッグ

デーの地域経済効果について、もう少し核心的な説明をいただきたい。

産業課長 昨年は2回目であったが、前年度に比べ入場量が減ったこともあり、また魅力あるイベントにしなければならぬということ、いろいろな方から御意見をいただいたこと、新しい企画で取り組もうと、内部協議を進めている。

観光案内業務委託料
小島委員 観光案内業務をどんな形で進めているか、将来にわたっての話は聞いたが、過去の対応について十分な説明がなかった。湖畔観光案内所の問題は、どう整理するのか。

産業課長 湖畔の休憩所は北海道が整備し、あとは町が管理するようになっていることが口頭で結ばれているが、正式な協定なり決めごとをつくらなければならぬと認識している。できれば、今シーズン

する予算として提案したつもりである。私がこの何年間かずっと訴えてきた、まちづくりの一助になればという思いで編成した。

新規事業を通じた将来に向けての考え方

松田委員 障がい者施設整備、グリーンツーリズム、芝桜公園ハウスの活用というこの3つの事業を、その事業だけで終わらせては絶対うまくいかないと思っている。地域の雇用、教育などいろいろなツールと結びつけていかないと、将来先細りになる気がする。事業をいろんなツールと結びつけ、効率的に進めていくものと思っているが、町長のお考えは。

町長 複合目的群を持った施策に私も積極的にいかかわり、コーディネートしながら進めることを旨として今後も取り組みたい。1つの事業で複数の効果が生まれるような取組に、今後も努力したい。



女満別小学校新校舎

さまざまな方々のいるような知恵と御努力がなければ、成功に結びつかないと感じている。皆さんにも御協力いただける体制を念頭に置き、今後も話し合いを進めたい。

災害への対応策

勝田委員 女満別小学校の体育館建設で、4億2,000万円ほど予算組みしているが、その機能は子供たちが体育をするだけでなく、災害時にも機能することが大事ではないか。災害時の電気、暖房、毛布や食料などといったものを兼ね備えているのか。

の運営までには何とか努力したい。



メルヘン観光交流センター
観光案内所

簡易水道事業特別会計

将来についての考え方

松田委員 本町における漏水率またはそれにかかる数字があるのかどうか。あれば、過去3年間の数字と、インフラ整備の現状と今後の進め方、考え方を聞きしたい。

建設課長 施設の維持管理として、意図的に流出させる水道水などもあり、漏水分のみで正確な比率は把握できていないが、そういった部分も含めた総配水量は、平成19年が115万2,491立

学校管理課長 災害時に学校が果たす最も重要な役割は、児童生徒の安全を確保する一方で、避難所としての役割も果たさなければならぬ。十分活用できるように、各校長とも連携しながら進めることとしている。

町長 いろいろな公共施設は、災害時の避難場所となる。今後、町として電気、食料、医薬品などといったものをどのような形で備えていくか、いろいろな方の意見をいただきながらまとめ上げ、順次整備していかねばならない。町だけでなく、町民や企業の方々にも御協力いただくことも出てくるのではないかと

姉妹都市交流事業

勝田委員 稲城市との姉妹都市交流がことし20年を迎え、中身は検討中とのことだが、予算組みされている。姉妹都市である稲城市が災害にあったとき、私たちにできることが幾

方メートル、有収水量が92万1,658立方メートルで、有効率79.97%である。平成20年の有効率は76.31%、平成21年は77.21%となっている。

今後の対応について、町全体の水道施設更新計画は現時点でないが、現在在庫補助事業として実施している女満別本町地区については、水道未普及地域の解消と老朽化施設の更新を行っている。今後、更新計画等を作成した中で、順次更新していきたい。

総括質疑

各種実施計画策定委託料

植田委員 道の駅、芝桜公園や新設団地の整備計画、一般廃棄物処理基本計画など、コンサルタントに何百万円も支払って策定委託するようであるが、住んでいるのは私たち町民であり、住んでいないとわからない感覚や事

らかでもあるのではないかと。

災害ではないが、二酸化炭素の削減問題は環境面で大事なことである。町の山林は1万ヘクタールもあり、それらのようなことも、交流20年記念事業の検討の中に入れて考えては。

総務課長 平成7年11月、稲城市と災害応援協定を結んでいる。被災者救護等の応急措置にすることが書かれており、職員の相互派遣、災害援助ボランティアのあっせんなど数項目にわたり、災害時はこの協定に基づき行動することになるかと思つ。

町長 大空町として災害応援協定を改めて結んでいないが、姉妹提携を結び、その協定も引き続き有効という認識である。私どもの地域と、都会で、人口がだんだんふえていく稲城市では正反対の側面がいろいろあり、そこを補完していくことこ

情があるのではないかと。そういった計画が町にとつてどういうものなのか、もう一度精査して計画、実施に向けて進めてもらいたい。そのことにより、大空町の行政が充実するものと考ええる。

町長 プランが出てきたとき、要所所で意見を述べ、職員にも考えつくところは意見として出させている。コンサルタントから出てきたものを、役場内部や議員だけでなく、計画にかかわる方々にも見せながら意見をいただかなければならないと思つている。そこに寄せられたより多くの意見により、従来のものよりしっかりとしたものにしていくことが、今の時代に求められているのではないかと。そのことを旨として取り組んでいきたい。

植田委員 町長は、それぞれの分野に対して大変配慮していること

そ姉妹都市の意義ではないかと。

今、課題となっている地球温室効果ガスの抑制について、私どもの町は積極的に植林などで取り組める。今後、20周年に向けていろいろな議論をしなければならぬと受けとめている。委員の話なども参考としながら、話し合いを進めたい。

災害時の役場と総合支所との連絡方法

勝田委員 道路や電気などが遮断された場合、役場と支所との連絡方法。

進業務委託料

深川委員 大変予算の厳しい中、今後に向けた商品開発をやっているのか。



芝桜公園の様子

が、予算から見ると、一歩進んだ形で、山下カラーを出してもいいのではないかと。町長の考え方が出ることにより、私たちの町がどのようになっていくのか、町長と町民とが一体となり考えるきっかけになるのではないかと。将来に向かっているまちづくりの考え方を聞きしたい。

町長 町民皆さんが、将来この地域でどう暮らし、働いていけるか、そういう夢やあすを語り合えるような状況にならなくてはならないという意味で、町民の方の元気づくりということに配慮し、将来不安を少しでも少なく

品開発を進めなければならないと認識している。

町長 地場産品を2次加工して付加価値を高め、商品として売り出す発想も必要になってくるのではないかと。新しいものの創造と、2次加工につながるようなものも考え、両方を持ちながら取り組んでいかなければならないと考えている。

予算提示のあり方

品田委員 予算をよりよく、わかりやすい内容にできないか。そういうチャレンジをしていただきたい。

町長 従来は、需用費の中の消耗品が幾ら、修繕料が幾らなど、すべて一緒くたに表現されていたが、これが既に事業別予算となっている。予算参考資料も、総合計画の項立てで分類し、どれぐらいの予算が計上されているかというものをお配りしている。

平成23年度予算のほか、第1回定例会において決定した主な事項をお知らせします。

安心して暮らせる地域を目指して

～網走市との『定住自立圏形成協定の締結』が決まる～

3月9日に委員会を開催し、行政側へ協定書案の内容や今後の方向性など説明を求めて詳細調査を行った結果、提案された議案「定住自立圏形成協定の締結について」は、委員全員が賛成し、本会議において委員長からの審査報告を受けて審議した結果、**全員賛成で可決**されました。

今後、定住自立圏の将来像や具体的取組内容を記載した「定住自立圏共生ビジョン」が策定される予定であり、本委員会ではその内容、策定経過などを継続して調査していくことといたしました。定住自立圏調査等特別委員会での審議概要は、次のとおりです。

『定住自立圏形成協定調査等特別委員会』を設置して詳細審議

大空町だけではなく、広い範囲で必要な生活機能を確認し、安心して暮らし続けられる地域にすることを主な目的として、**中心市宣言**をした網走市と「定住自立圏形成協定」を締結することについて議会に提案され、これを受けて、議会では「定住自立圏形成協定調査等特別委員会（委員長 近藤哲雄議員）」を設置しました。

質疑と答弁

（委員会審議概要）

植田委員 大空町以外の町も地域医療体制に入る状況を踏まえたとき、本町の患者が網走市の病院へ優先的に受け入れられるなど、ほかの町との関係は今後変わっていくのか。

総務課参事 今回、定住自立圏の話は本町と網走市とで進んでいるが、医療関係は各市町村で関係のある問題として考えられている。広い意味で、周辺町村の協議が問題解決や、連携・協力するために必要。

少ずつではあるが、そういう努力をここ何年かさせていたでいて、表現の仕方というふうなもので御意見などがあれば承り、改善に努めたい。

【ひまわり作付事業】
中掘委員 ひまわり作付事業426万円ほどの中から、空港通り沿いの家1軒に5粒ずつでも配り、植えつけてもう一手配をお願いしたい。

町長 沿線の方々の御協力がなければ、実現が難しい。そういった話をさせていただいた中で判断したい。



空港周辺 ひまわりの様子

【開陽中央線道路整備事業】
品田委員 町民皆さん方に、事業の全体像が知らされていないのではなか。まず全体像を知らせて、年度ごとに計画をたてていく、そういうふうな町民に知らせることができないか。

町長 全体的なものを示せばわかりやすいが、直近の設計をしながら工事を進める形になっている。地域の方々にいろいろな要望をいただき、設計にその部分を反映させてはいるが、今は全体像を示せる状況にない。

【議会での審議方法】

品田委員 東藻琴地区の事業が、結構網羅されている。所管常任委員会と違う議員には、内容がわからなくなる場面がある。議員協議会で協議したものは、継続してかけつけてもらいたい。行政側として、議会全体で対応してもらいたいという考え方をもっているのか。

町長 議会に対する案件の諮り方は、私どもの判断だけでなく議会とも話し合いを進めながら、今後ルールを決めていきたい。

【誘致企業振興事業】
小島委員 420万円のゴルフ場支援策である。支援をだめだと言っているのではなく、他の誘致企業から要請があれば支援するのか。そつだとすれば要綱が必要ではないかと尋ねると、その都度要望があったときに考えるというふうな論点で整理されている。その点について、私は公益性の観点から不要不急のものと思っているが、お考えは。

町長 北海道で最も遅くオープンしたゴルフ場で、いろいろな課題や状況変化がある中、私どもの町で経営されている。今回10周年というお話もあり、それに対する助成という形で決断した。ゴルフ場が、地域の中で企業と

しての役割を果たしていただくことを期待する。

【一般廃棄物最終処分場管理運営費】
小島委員 大麻処分場の問題は、北海道の立会いにおいて処分がきちつと行われることを担当者と北海道との間で最終的に確認しなければならぬが、そのことを怠ったという答えもある。問題が起きていくかどうかかわからないが、そのことのお答えを願いたい。

町長 最終的には北海道の責任といえながら、ただお願いすればいいというものではない。町として、かかわっていかねばならないことは事実である。十分目的を果たしていきなかつた部分はおわびし、きちんとした対応が必要と思っている。

【一般廃棄物最終処分場焼却炉解体工事】
小島委員 ダイオキシンの問題の解釈、学説も

植田委員 生ごみの処理など網走市以外との関係、現在進行している津別町との関係、その辺の整理はどのように考えているか。

住民課長 網走市も本町も、一般廃棄物処理計画を見直しの予定で、お互いに協議しながら進めることになる。生ごみの関係は一般廃棄物処理計画に含まれていなかったが、適正な処理ということで計画を策定する。津別町とのかかわりは、そのまま進めていく予定である。

小島委員 定住自立圏共生ビジョン策定の際、この協定書の内容に進化がなければおかしい。協定を結ばば、今までのことを基礎にしながら新しい展開が生まれて当然である。説明を聞いていると、今までの広域連携を軸にしてやるのだから、何も変わらないのだとしか聞こえない。前向きな意

変わってきたところなので、しばらく様子を見てから対応してもいいのではないかと。そうすれば、地元業者も担うことが可能になるかもしれないと思っておも、なぜ今なのか、説得力あるお答えをいただきたい。

町長 学説が変わったことは、受けとめとしてなかった。将来やるかやらないかという議論があるのであれば、今の時点ではないかもしれないが、将来の憂いというものを早い時期に解決したい。

【障害者福祉施設整備事業】
小島委員 共生型施設として建設されると思

い込んでいたが、障がい者に特化した事業に変わっているようである。前期、私は厚生文化常任委員会におり、高齢者との共生型というところにポイントを置いて議論した記憶がある。説明が十分されているように思えない。過去にそう

いう話もあったが、内部で検討し、障がい者団体等とも話をして、大空町の中で初めて障がい者福祉施設を整備する中で、障がい者の方だけでニーズ的にも確保できるだろうというところもあり、入居については障がい者のみという形で整備することと決定した。

【予算総体での考え方】
小島委員 予算を提案している立場上、これを、あれをと引っ込めることにならないのはわかっているが、勇気を持って不執行にすることもあり得ると考えている。

町長 予算というのは生き物だと思っている。状況変化がある場合もある。この予算の中で、1年間コンクリートのままいくものではなく、いろいろな議論を進めながらやっていくものである。いろいろな御意見を受けとめながら、十分検討していきたい。

味で新しい展開がないと、意味がないのではないかと。総務課参事 変わらないとは言っておらず、今ある協定書の内容は、総合計画にあるものをベースにしている。行政改革も含め、適切な社会情勢に合わせて見直しをしていくべきだ

と思っている。
町長 すべての項目について、導入部分とすれば、今行われているものを中心に、総合計画掲載事業を出している。将来的に、すべての面において変わる可能性があるが、今時点ではこの内容で進めていきたいという考え方である。



健康相談コーナー



網走市 下水終末処理施設

【教育委員の任命、人権擁護委員の推薦】
教育委員の任命と人権擁護委員の推薦に賛同しました。

【教育委員】
福田淳一氏（女満別開陽）



(H23.6.12 就任予定)

【人権擁護委員】
鎌田宏博氏（東藻琴北一区）



(再 任)

河崎琢哉氏（女満別本通）



(H23.7.1 就任予定)

【町道路線の廃止と認定】
町道路線の整備などにより、既存町道路線の廃止と、新たに町道路線が認定されました。

【新たに基金(町の預金)を設置】
国の補正予算により「住民生活に光をそそぐ交付金」が交付され、交付金の一部を基金に積み立てる(預金する)ために「住民生活に光をそそぐ基金」を平成25年3月31日まで設置することとされました。今後、障がい児の教育支援や教育相談事業などに活用される予定です。

【農業委員選挙区が廃止】
これまで設定されていた東藻琴、女満別の両選挙区が、今年度行われる予定の農業委員選挙から廃止されます。

【女満別地区公民館が「地域集会所(町民会館)」に移行】
地域の住民活動などに柔軟な対応ができるようにと、女満別地区にある12の公民館の位置づけが、4月1日から「地域集会所(町民会館)」になりました。

【研修会館・ゲートポールセンターの休館日が変更】
女満別研修会館・ゲートポールセンター両施設の年末・年始の休館日が、今年度から「12月31日から翌年1月5日まで」に変更されます。

【東藻琴総合体育館を東藻琴高校の体育館として位置づけ】
高校に隣接している東藻琴総合体育館の位置づけが、4月1日から東藻琴高等学校の体育館になります。

【老人医療費助成廃止】
昭和53年から北海道の補助事業として実施してきた老人医療費の助成について、平成16年に北海道の根拠条例廃止が決定され、平成20年3月31日で新規の給付が終了しています。

【出産育児一時金39万円】

診療に関する債権の効は3年であることから平成23年3月31日をもって老人医療費に関する助成が廃止になりました。

【恒久的措置に】
「大空町国民健康保険条例」に規定される出産育児一時金の支給額は、平成21年10月から平成23年3月までの期限つきで39万円となっていました(基本は35万円)。4月1日からは期限がなくなり、39万円が基本支給額になります。

【平成22年度各会計予算の補正】
平成22年度末を迎え、事業経費確定などで予算額を精査したことにより、平成22年度各会計予算額が補正されました。今回補正された各会計の予算額は、次のとおりです。

◆一般会計：予算総額が、3,605万円増の88億5,281万円になりました。
平成22年度一般会計予算補正の主な内容

【歳入】	【歳出】
●町民税・個人 〔農業所得の増など〕 +2,292万円	●環境に配慮した電気自動車の購入 +424万円
●町民税・法人 +1,709万円 〔運輸業、建設業、レンタカー関係での増〕	●雪捨て場用地の取得 +210万円
●固定資産税 +1,349万円 〔新築住宅、課税対象資産の増〕	●東藻琴ふれあい広場の整備 +500万円 〔コンビネーション遊具、あずまの整備〕
●農業基盤整備事業分担金 △1,582万円 〔事業費確定による減〕	●ボッシュ(株)女満別テクノカルセンターテストコース整備に係る補助金 △629万円 〔固定資産税額確定による〕
●安全・安心な学校づくり交付金 +9,236万円 〔女満別小学校建設補助単価の増〕	●住民生活に光をそそぐ基金への積み立て(預金)〔障がい児教育支援などに活用〕 +1,500万円
●地域活性化・きめ細かな交付金 +3,590万円	●公共施設等整備基金への積み立て(預金) +1億4,358万円
●地域活性化・住民生活に光を注ぐ交付金 +1,668万円	●ひがしもこと乳酪館製造室改修工事 +262万円 〔製造室床改修、冷却装置取り替え〕
●財産売却収入 +1,056万円 〔町有林立木と道道整備による町有地の売払い〕	●農業基盤整備関連事業費 △1,987万円 〔事業費の確定などによる〕
●一般寄附金 +372万円 〔町内外の方々から16件の寄附〕	●朝日ヶ丘公園の整備 +1,445万円 〔厩舎を倉庫に改修、クラブハウス建設、芝刈機更新〕
●学校教育施設建設基金繰入金 +1,998万円 〔学校施設整備のため、基金(預金)額取り崩し〕	●樹北海道エアシステムへの出資 +403万円 〔新たな経営体制確立のため出資要請あり〕
●町債(町の借入金) △1億2,620万円 〔事業費の確定などによる〕	●女満別高校生生徒数確保のための住環境整備〔土地、建物の取得〕 +1,500万円
	●東日本大震災被災地への義援金 +100万円

- ◆国民健康保険事業特別会計：予算総額1億2,015万円減の11億2,351万円。
- ◆後期高齢者医療特別会計：予算総額486万円減の9,008万円。
- ◆介護保険事業勘定特別会計：予算総額741万円増の6億1,721万円。
- ◆介護サービス事業勘定特別会計：予算総額19万円減の840万円。
- ◆簡易水道事業特別会計：予算総額1,400万円減の4億4,408万円。
- ◆下水道事業特別会計：予算総額471万円減の3億7,953万円。
- ◆個別排水処理事業特別会計：予算総額33万円減の2,771万円。

質疑と答弁

(一般会計補正予算)

【朝日ヶ丘公園の整備】

小島委員 朝日ヶ丘公園の厩舎改修工事など国の緊急経済対策事業に選択した根拠は。なぜ、そこに投資すべきだと決断したのか。

町長 厩舎は将来的に倉庫として使うことを想定し、芝刈機は音が出るべくも上がらない、周辺の皆さんに迷惑をかけ、交付金の有無にかかわらずどこかで切りかえなければならぬものとして選択した。休憩施設は、将来的に恒久的な設置の要望があり、交付金を活用しての整備は大勢の皆さんの要望にこたえる手法だと思っている。

町長 物件をある程度固定しないと、根拠が示せない。財産取得のすべてが、上位計画に沿って行われているものではない。

この関係については一昨年から、関係者の方々が大変心配され、いろいろなところにかけてきたが、相手方があることなどから、町として取得してもらい、管理運営は責任を持って行うという方針でお願いできないかと、

【女満別高校生生徒数確保のための住環境整備】
小島委員 女満別高校の生徒数を確保する事業の一環として、公有財産を取得するという説明があり、ある程度



女満別高校入学式の様子

女満別高校の間口、生徒確保対策として財産取得(寄宿舎)



ことしの1月に要請された。関係者が十分検討し、法人格を取得するまで至らない中で、町に要請があったと思っっている。財産取得は一過性ではなく、将来において女満別高校の間口、生徒確保における手段となるものではないか。

有効に活用し、生徒確保に努力していきたい。

【一般寄附金の内容】

勝田委員 寄附くださった方々の名前や金額などを参考資料としてつけられるかどうかと、今までに寄附された方の名簿などが、ずっと整理されてきているのか。

また、寄附金を一度基金に積み立てて、必要に応じて崩して使うことにすれば、浄財をいただいた方にも使途を説明でき、寄附くださった方も町のためになったと思うのではないか。

総務課長 匿名の方もおり、参考資料は難しい。

一般寄附金となっているが、ある程度名目をつけ、選んで寄附をいただいております。これらの寄附については今までもその内容に応じて積み立てたり、事業に使わせていただいている。寄附については、寄附台帳を整備し、管理している。

【議会閉会中も各委員会が所管事務などを調査】
議会にはいくつかの委員会が設置され、それぞれ所管する調査項目など

【例月出納検査の結果報告】
監査委員の行う「例月出納検査」の結果について、報告を受けました。

【国に対して要望意見書提出】
「地域医療従事者のための医師確保に関する要望意見書」を、国に提出しました(内容・提出先は、P.27に掲載しています)。

町政を問う(一般質問5名)

平成23年第1回の大空町議会定例会では、5名の議員から町の施策などに関する一般質問がありました。各議員の質問と、その答弁要旨をお知らせします。
※掲載内容は要約しております。詳細は、両地区図書館に備え付けの会議録を御覧ください。

総合計画を支える各種行政計画の重要性と議会の議決について

品田 好博議員



行政計画相互間の調整方法と担当は

議員 行政計画の相互間を自治体内部で調整することは、どのような形で行われ、その担当部署はどこか。

町長 総合計画のほか36の計画がある。総合計画に沿って体系づけられ、各担当課で総合計画との整合性を図る相互調整が行われている。総合計画そのものの所管は総務課であり、総合的調整機能は総務課にあると言えるのではないかと。

議会の責任明確化が情報共有に

議員 各種行政計画を議決事件に追加して議会の責任を明確にすることが、広く町民への情報の提供、共有になり得ると考える。今日の政策的課題は、行政部門ごとの問題として扱うべきことばかりではないと考えている。それぞれの課の名称で計画をつくっているわけではなく大空町と冠をかけており、議会に実施状況を報告して審議を受けることになれば、各部署で取り組み状況を精査する作業が生まれ、よりよい関係になるのではないかと。

町長 議会の審議ルールもある。どういう形がよいか十分相談し、そのルールにのっとった形で示したい。

生きた行政計画を立て、町民に理解を

議員 各種行政計画の重要性と、議会と町民に対する説明責任はどうあるべきか。住民と行政が協働し、創意工夫しながら納得いく計画をつくる観点を持つてもらいたい。生きた行政計画を立て、町民に理解を求めていくことが大事な時代になってきているのではないかと。それが、まさしく町長が言う地域主権改革だと考える。

町長 議員が言われることを十分受けとめながら、執行に当たっていききたい。



東藻琴地区の「道の駅」整備基本計画策定のゆくえについて

事業の発生源

議員 この事業の発生源は。

町長 宿泊・温浴施設は東藻琴の市街地にあったほうがいいとの御意見があり、市街地の商業活動衰退を懸念する声も聞かれた。その中で考えたのが道の駅の発想である。

総合計画における根拠

議員 総合計画における根拠は。

町長 第3次東藻琴村総合計画に位置づけられていたが実現に至っていない、古くからの地域課題である。大空町総合計画においては、観光産業の振興の中で位置づけられている。

本事業の政策と財源措置

議員 本事業における政策の実施、事業にかかる財源措置は。

町長 道の駅というだけで補助事業を活用することは困難で、機能の中に防災拠点などの位置づけをすることで補助事業活用ができないか探していきたい。合併特例債の活用も念頭に置いている。

事業計画の母体的な組織づくり

議員 事業計画の母体的な組織づくりは、どのようなものか。

町長 整備の場所についてさまざまな意見が聞かれるが、そういった事柄を整理するため、17人の委員で構成するまちづくり住民懇談会を立ち上げ議論いただいている。地域のコンセンサスが



まちづくり住民懇談会の開催風景

重要であり、話し合いの熟度を高める中で計画に取り組みたい。
意見集約をどのような方法で考えているか
議員 まちづくり住民懇談会の公募委員は何名かまた、地域アンケートとして商工会、自治会、女性部、東藻琴の学生などのワークショップ等、大きく東藻琴地区の皆さん方の意見収集方法を考えたい。

雪国の快適な冬期間の環境づくりについて

など、団体推薦で14名となっている。
町長 町民集会やワークショップなど、今後考えられる意見集約の仕方を取り入れていけるのではないかと考えている。

ゼロ・エミッションと

議員 北国には雪から逃れられない宿命があり、それならば利雪・克雪という考え方で、雪国の快適さ追求との側面からブラス思考でチャレンジがあつてよいと考え、提案する。

町長 一部地域だけの完全排雪でいいのかという議論もあるのではないかと。雪ゼロ・エミッションという考え方で、中心市街地の周径100メートルでも、完全排雪は不可能なのか。除排雪へ資金をあまり投じないのが雪国の施策とすれば、市街地の活性化・経済振興は縮こまってしまうのではないかと。

議員 公園内の道路を最低1.2メートルはあけられないか。健康志向によりウォーカーが増えて



ウォーキングマシンとエアロバイク

市街地整備が特定の応援にはならない
議員 都市機能を一番集約している市街地の整備が、特定の人を応援することにはならないと思う。

町長 その部分だけでいいのか皆さんと話をし、将来の展望も持ちながらでなければ、なかなか踏み切れないという思いである。

公園内の冬期間除雪について

議員 公園内の道路を最低1.2メートルはあけられないか。健康志向によりウォーカーが増えて

町長 女満別地区などの公園は、冬期間の除雪に至っていない。日常歩かれる方々が大変お困りではないかと、ゲートポールセンターのトレーニングルームにウォーキングマシンやエアロバイクなどを設置したので、冬期間代替していただきました。

小さな大通公園に

議員 道道3.3.2空港線の緑地を、冬は排雪して広々とした感じを維持し、イベント広場としての機能を発揮させては。子供たちの雪像やアイスキャンドルを並べ、街路樹のアカマツにイルミネーションを施すのもよい。そこに屋台村があつても結構かと思う。町の小さな大通公園にしてはどうか。

町長 地域の皆さんが取り組んでくださるような話があれば、町としても積極的に協力したい。



お願い

議長宛ての案内文書については、事前に公務などの日程調整が必要になるため、必ず議会事務局まで「持参」または「郵送」でのお届けをお願いします。

送り先：
〒099-2392
大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長
(大空町議会事務局) 宛

少子化問題について

中堀 君子 議員



特定不妊治療に 助成する考えは

議員 少子化が進み、これから先どうなるのかとの思いで少子化問題を取り上げた。

結婚できても赤ちゃんを授からない人たちが少なくない。

不妊治療も、特別な治療は都市部でなければならず、治療費や交通費、宿泊費などのリスフを伴う。

網走市は、平成17年度から体外受精や顕微授精などを対象にした特定不妊治療費の助成制度を、北海道の補助とともにしている。北見市も、平

成23年度から助成する予定と報道されていた。大空町において、どの程度の方たちが北海道の補助を受けて治療されているのか。また、町として特定治療費に対し助成する考えはあるのか。

町長 北海道では、平成16年10月から特定不妊治療費助成事業を開始している。

本町の不妊症の方々の数は具体的に把握していないが、毎年度相談者が数人ずついる。保健師が指導に当たり、状況により受診を勧めている。

北海道の事業を利用されている方が、本町に平成21年度で2名いる。北海道指定の病院は道央圏に集中し、オホーツク管内では1カ所しかない。町として実態を把握し切れておらず、どのような

方々で、経費がどの程度かといった把握に努め、今まで以上に相談業務を充実させ、今後どういった対応が必要か検討したい。

近い将来の検討を

議員 不妊治療を行っている方の親御さんが私のところへお見えになり、「札幌市まで治療に行く」と非常にお金がかかる。息子たちも、網走市へ引っ越そうかと言っている。とおっしゃっていた。

この町に住み、この町に子供が生まれるのなら、その両親も町に住み、さらにその両親も子供たちに離れられなくてよかつたということになると思っている。北海道の補助を受けて治療している方が2人いるとのことで、近い将来、不妊治療の助成について



考えてほしい。

町長 町では、妊婦健診助成、出産時救急搬送、各種子育て支援、保育園・学校教育の充実など実施しているが、今のところ出産後の対応ではない。不妊治療をされている方は、はかり知れない御苦労をされている部分があるのではないかと十分な状況把握ができておらず、つぶさに研究しながら前向きに考えていきたい。

ガラス製密閉瓶の 再利用を念頭に

議員 ガラス製瓶の再利用ということで、議長の許しを得て議場内に持ち込んだ。

私は、この瓶の物を売っている店へ行き、この容器に袋詰めした物を詰めかえ、袋をリサイクルに出すことをやってみようかと言ったが、袋の物はないとのことであった。行政から再利用の指導や提言するようなことは、法律の壁がありできないということである。

ごみの減量を進めるのならば、詰めかえか回収を行う、いち町民が声を出すこともできることながら、行政にも後押ししていただきたい。

役場住民課では、「3Rのススメ」という立派なチラシを事業所などに配付している。私たち町民もごみ減量運動に参加し、先ほどの瓶も「3R

環境問題について

の「ススメ」のリユース、すなわち何度も繰り返し使うということで、自身を納得させた。

再利用するということに対し、私はぜひそういうふうになってもういいと思っている。担当課の方たちも、このことを念頭に置いてもらいたい。



町長 町として、各事業所にごみの減量大作戦と題した啓発用パンフレットを配付した。その中で、リサイクル（再生利用）、

空港関連について（町政執行方針）

齋藤 宏 司 議員

リユース（繰り返し利用）、リデュース（ごみを出さない）という発想を持つとPRRしている。ごみ減量は、地球環境の保全や町の経費縮減にもつながる。町民運動として積極的に、未長く取り組みたいと思っている。

オホーツク圏活性化期成会では、リサイクルのあり方など国の法整備を要望しており、そういう法体系の整備も今後要望していきたい。

瓶とキャップは 分けて袋へ

議員 今年の1月、リサイクルセンターへ足を運んだ。瓶、缶などが山になつており、そこにブリキのキャップがされた瓶が、スーパーの袋に一つあった。私が町民にもつとPRをと思ったのは、ふたをはずして飲むのだから、なぜそのまま出せないのか。分けて袋へ入れてということを書かせていただく。



分別はしっかりと

ーやごみ焼却施設、最終処分場などを町民皆さんに見ていただくことで、今言われたキャップをはずし、分別する意味が直接伝わるのでは。そういうところを見てもらうのも、行政の情報公開、共有につながるのだと思う。

ごみの減量化に本腰を入れて取り組んでいきたいと考えており、処理施設などへ町民皆さんが御同行いただく機会を考えたい。



空港のにぎわいづくりの 具体的内容と課題は

議員 空港のにぎわいづくりのために空港ビル株式会社やテナント会と協働し、乗降客だけでなく、より多くの地域の方々に空港を利用していただくよう積極的に支援するとされているが、具体的内容や課題としてどのようなことが考えられるのか。

町長 空港ビルを公共施設と同じ位置づけの中で活用する取組を、空港ビル株式会社やテナント会の皆さんと行っていきます。具体的には、空港ビ



女満別空港春フェスタの様子

ルの会議室を開放し、文化や芸術活動の場として提供する、シバザクラやヒマワリの開花時期に合わせて花のプランターを空港に設置する、ロビーでミニコンサートを開催するなど、地域住民の活動拠点として、空港のにぎわいを創出したい。

環境問題について

ガラス製密閉瓶の 再利用を念頭に

議員 ガラス製瓶の再利用ということで、議長の許しを得て議場内に持ち込んだ。

私は、この瓶の物を売っている店へ行き、この容器に袋詰めした物を詰めかえ、袋をリサイクルに出すことをやってみようかと言ったが、袋の物はないとのことであった。行政から再利用の指導や提言するようなことは、法律の壁がありできないということである。

ごみの減量を進めるのならば、詰めかえか回収を行う、いち町民が声を出すこともできることながら、行政にも後押ししていただきたい。

役場住民課では、「3Rのススメ」という立派なチラシを事業所などに配付している。私たち町民もごみ減量運動に参加し、先ほどの瓶も「3R

念が、自分の中にある。ふだん着でも行ける環境づくりといったお考えはあるか。

町長 イベント開催に当たり、テナント会の方々にも協力願わなければならない。空港の建物そのものは、いろんな方が使われる公共的意味合いがある。特色をさらにPRし、ふだん着で来られることにも意を払い、作戦を練って取り組みたい。

住民関係について（町政執行方針）

自治会活動支援交付 金の具体的内容は

議員 町民が主体的に地域づくりに取り組む機運を醸成するため、個人町民税の1%相当額を自治会活動支援交付金として交付することにより、各自治会活動への積極的参加や取組を支援することになっているが、具体的内容や課題と活動支援、地域担当職員とのかわり。

町長 自治会の負担軽減を図り、創意工夫を凝らして主体的に地域づくりに取り組んでいただく機運の醸成を目的に、個人住民税の1%相当額を充てることにしている。町内48自治会に均等配付する均等割額を5万円を超えれば世帯割額として交付する。

対象事業は、さまざまな活動に対し幅広く対象になるよう考え、各自治

会に創意工夫いただければありがたい。交付申請や実績報告は簡素化に努める。地域担当職員が、手助けや情報提供、支援の役割を果たしていくことになる。



住民税1%の根拠は

議員 個人住民税1%相当額という根拠は。

町長 1%相当で約300万円である。皆さんが納税者であるということ、それだけの額が納税されていることを認識していただく一つの方法として設定した。

職員側から見た地域担当者制度の課題は

議員 3年目になる地域担当職員のかわり、住民側から見る職員の見方と、職員から見る自治会の見方と恐らく違つと思うが、職員側から見るとどのような課題があるのか。

町長 地域の皆さんとのつき合いのどこまでを日常の範疇としてかわるか。その部分を明確にするほど、地域の方との接点が他人行儀になり関係が深まらず、本来の目的が達成できないことになる。

そこをあいまいにする、公務災害適用の有無など、職員側として不安になる部分もあり、そこをどう参酌しながら取り組めばいいかというところが課題ではないか。

お互いがわかり合えるように

議員 業務は業務でわかるが、何とかお互いにかり合えるような形で進めてほしい。

町長 地域と行政を結び

パイプ役、地域活動の支援が段階的最终目標であるが、職員が地域や町民皆さんを覚える研修の場でもあると思っている。町民皆さんも、仕事の分野でつき合いがあるかもしれないが、少し離れると一度も話したことがない職員もいるのではない。

異業種交流について (町政執行方針)

異業種交流の呼びかけ方法は

議員 町内のさまざまな職種の人たちが、幅広い的交流や情報交換、仲間づくりなどができるような出会いの場の提供に努めるとあるが、いづころ、どのような形で、どのように呼びかけるのか。

町長 地域の若者力結集につなげるため、各業種の方々への交流の場の提供を念頭に置いている。町内のさまざまな人たちが交流、仲間づくりをす

い職員もいるのではない。町の仕事のPRができれば、第1段階として大きな成果につながるのでは。地域の皆さんに職員を育てていただくための制度でもあるということことで、御指導いただければありがたい。

1回の出会いだけで成功は難しい

議員 出会いの場だけではなく、講演の場も設けてもらいたい。1回だけの出会いでは、結婚まで考えた中で、成功は難しいと思う。

町長 初めての試みであり、いろんな業種の方々が一堂に会して町を再発見したり、交流の場所を設け町としてきつかけをつくることからスタートしたい。研修会や講習会といった企画は、今年度中から可能ではないか。

交流の継続的実施を

議員 異業種交流は継続的に、盛んにやっていただきたい。

町長 出会いのきっかけをつくり、その次の動きにつなげるよう努力したい。

特別支援教育の充実に向けて

松田 信行 議員



特別支援教育の現状と評価

議員 2006年、学校教育法が改正され、特別支援学校だけでなく、LD、ADHDを含め特別な教育支援を必要とする児童生徒に対して適正教育を行うことが、明確に位置づけられた。4年たった今、特別支援教育の現状と評価は。

教育長 従事教員の多くが資格を有しているわけではなく、通常の教員が研修会や特別支援学校など専門職による指導を受けて資質向上に努めており、教員個々の知識や経

験に頼っているのが現状。今後、指導力の維持向上や特別支援教育充実のため、専門的研修機会の提供や教員の養成、配置を北海道に対して要請したい。



早期発見と就学相談指導・教育相談体制

議員 2010年3月、文部科学省の特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議の審議のま

とめの中で、障がいのある子供に対する多様な支援全体を一貫した教育支援ととらえ、早期から教育相談、支援の充実、就学指導のあり方等が示されたが、本町における障がい児等の早期発見及び就学相談指導と教育相談体制について伺う。

町長 教育委員会に特別支援連携協議会を設置しており、保護者の理解を得て情報共有が図られるよう、積極的にかかわる必要がある。幼少期から就労まで、一貫的に情報をもちながら指導や支援に当たる体制を、教育委員会と連携してつくり上げたい。

就学指導委員会での協議内容

議員 就学指導委員会での具体的な協議内容は。

教育長 特別支援学校などへの進路が妥当か、既に特別支援学級に在籍している方の継続可否などを決定している。

支援をつなぐ視点

議員 就学指導委員会の役割は、決定だけでなく支援をつなぐ視点も必要ではないか。

教育長 就学可否の審議を行うことが本来の目的。本町では、特別支援連携協議会を独自に設け、全体的サポートをその協議会が担うように考えている。

しっかりとれた情報管理の中の対応

議員 障がいを知ったとき、その子の将来が見えず、不安との葛藤だったという、あるアンケートの結果からも、早期発見は必要である。首長部局と教育委員会との情報交換が必要で、子供の将来を考える共通の目標を掲げたとき、情報管理をし

つかりした中での対応が必要ではないか。

町長 しっかりとれた情報管理のもとに注意深く見守り、確認するといった作業を丁寧に行わなければならない。その子の将来を考えた中で、総力を挙げて努力したい。

保護者の支援環境整備が子供の支援に

議員 今までは、子供の支援を通じた親への支援で、今後は親の支援環境を整えることが子供の支援につながると思う。支援のあり方について、町長のお考えは。

町長 相談員などの立場の者が、学校と家庭との間に立つなど、いろいろ要求されるのでは。親御さんと一緒にかわりを持つ体制づくりに努力したい。

就学指導ガイドラインの検討

議員 子供を中心として、本人、保護者、学校、教育委員会が目標・課題を

共有することを重要視し、就学指導委員会の役割や相談の流れ、進め方などを解説したガイドラインを検討するお考えはあるか。

教育長 そういったガイドラインの策定は、非常に有効と考えている。現在町として持っていないが、策定について検討したい。

連携ではなく連帯という意識を

議員 特別支援教育という分野は、連携と情報共有に尽きると認識しているが、連携ではなく、それぞれ責任を持つ連帯という意識で、状況の報告だけではなく目標と課題を共有してほしい。

教育長 大事なものは、情報のバトンをしっかり引き継ぐことだと思つている。関係職員の資質向上に努め、一貫したサポート体制の確立に努める。

町長 そういふ気持ちを

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向、議事日程、議決結果や会議録なども随時更新の上掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/> からアクセス



向上に努力したい。

町政執行方針の 住宅対策について

入居状況、希望者の動向と整備調査設計、長寿命化計画の整備

議員 町営住宅の入居状況及び入居希望者の動向と、町営住宅整備に係る調査設計及び町営住宅長寿命化計画との整合は。

町長 一般町営住宅の2月末入居率は、女満別地区99・7%、東藻琴地区97・3%という状況。調査設計委託料は、し



平成19年度建設のしらかば第2団地町営住宅

らかば第2団地町営住宅1棟8戸分の実施設計である。

長寿命化計画は、町営住宅空室の固定化や老朽化、人口・世帯数減少がある中で、建てかえや廃止の方針など、今後の方向性を検討するものである。

町営住宅の占めるウエートは

議員 個人住宅と賃貸住宅の占める割合と、賃貸住宅のうち町営住宅はどれくらいのウエートを占めるのか。

町長 平成17年国勢調査で、持ち家が1,925、公営住宅が532、民間住宅が240、会社などが職員に貸し付ける給与住宅が249、間借りが23、それ以外の住宅が31とあり、これですべて町営住宅は18%程度になる。

助成は考えられないか

議員 希望の町営住宅に、4,5回申し込んでも当たらないとよく聞く。おふるがないという意見もある。新婚から子育て世代、高齢者世帯を考えると、おふるは必要。新しくつくる時に助成といった形は考えられないか。

町長 現在別のところにお住まいだと、入居優先順位として下がってしまう事例が多い。定期的な修繕や最低限おふるの設置などは、計画的に行っていくかなければならないのではと考えている。



幸せを実感できる町づくりについて

勝田 鉄城 議員

し、新しい価値基準として幸せの指標や理念を築いて政治を行うことが必要ではないか。

町長 心が満ち足りたとき幸せを感じるのではないかと。人生観、人間観、宗教観や哲学と言われる部類かと思う。

まちづくりの指針を考える時期がきているのは。その中で、議員が言われた幸福感を追求できる目標があってもいいと感じている。

幸せの尺度の転換

議員 何でもお金という尺度ではかる時代から、経済一辺倒ではなく、政府でも憲法にのっとり、どうすればみんなが幸せになれるのか考えようという動きがあると聞いている。そのようなこと



少ない予算でも
町民が満足する方法

議員 地方交付税が減少し、町民サービスの低下も考えられる。少ない予算でも、町民が満足する方法があるかと思うが、お考えは。

町長 そう遠くない段階で、意向調査などを考えていく必要があるのではないかと。

幸せの指標という
新しい価値基準

議員 少子高齢化、低成長時代を迎え、経済成長することが豊かで幸せという考えから一歩前進

高齢化社会に対応する 町づくりについて

国勢調査から見た
本町の高齢化率は

議員 今回の国勢調査から見た本町の高齢化率と、今後予想される高齢化率の推移は。

町長 高齢化率は、ことしの10月に公表されるこということで、今回の国勢調査としての数値はない。国勢調査ではないが、住民基本台帳による今年2月末の65歳以上の方々の高齢化率は、28・3%という状況である。

高齢化進展による
空き地、空き家対策は

議員 高齢化による空き地、空き家の実態調査は行っているのか。個人の財産ではあるが、さまざまな問題が生じている。行政として何か対応ができるのか。

町長 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の16条

で空き地管理、17条で空き家管理の定めがあり、事例として空き地周辺住民からの苦情に対する土地所有者への改善指導、廃屋所有者への環境改善指導などを行った。

移住・定住・住みかえを目的とした空き家等情報登録制度もあり、空き家などを多く出さない政策も活用していければと思っている。

行政による対応策が
必要では

議員 高齢化により空き地、空き家が増えれば、管理できないという問題が生じ、行政が対応しなければ、条例で全部所有者の責任といっても、問題が解決しない。何か対策を立てなければならぬ時期が来るのではないかと。

町長 法律的解釈があつて対応が可能か調査研究した経過があるが、今の

高齢者のための
今後の支援

議員 高齢者が生き生きと老いていくため、ソフト・ハードの両面で現在と違った支援が今後求められるのでは。

町長 交通手段の確保、地域のつながり、コミュニケーション手段としての通信機能などが、今後の社会で必要になってくるのではないかと。そういったものを選択しながら充実させることが、高齢化社会に向けた町としての一つの役割かと考えている。

バリアフリー化された
コンパクトシティ

議員 市街地中心にある公共施設を商店街が取り巻き、その周りに一般住民が暮らし、お年寄りでも歩いて用足しができるなどのバリアフリー化されたコンパクトシティ、



小さなまちのほうがいいのでは。

お年寄りがある家に集まり、近況を語り合うといった事例を2件ほど知っている。自然とそういう形になったいい例で、我が町に合った政策が何か見つけれられないか。

町長 市街地のコンパクト化は、これからの社会においてハード面で必要ではないか。議員が言われた、日常活動が経済活動に結びつくような取り組みを、皆さんとともに町としても考えていきたい。

できれば、東藻琴も女

が、我が町にあってもいいのではないかと。

町長 基本的指針、目指す方向、心の豊かさや幸福度など、皆さんの一つの目標になるようなことを議論していきたい。



政策のヒントは
北欧3国に

議員 高齢化社会を迎えるに当たり、給付と負担の形は違つが、ヒントはヨーロッパ、北欧3国にあると言われている。できれば、社会福祉協議会と一緒に海外視察に行かれてはどうか。

町長 我が町の将来につながることに思ふので、機会をつくるようにしながら検討する努力をしたい。

変わる世の中で
先取りした政策を

議員 10年後には、1人のお年寄りを2人で支えることになるそうなので、若い世代の負担が大きくなる。箱物は最小限にとどめ、少子高齢化社会にあっても活力があり、幸せに暮らせる町づくりが



大切ではないか。町長においては、できれば海外視察もして、町民のために世の中を先取った政策を打ってもらいたい。

町長 今御指摘の点について、今後皆さんの役に立つ対応に努力したい。

視察調査報告書

平成23年2月9日～10日の2日間で、懸案事項である芝桜公園整備計画中の温泉熱利用による園芸ハウス整備、道の駅構想に関する情報収集のため、現地調査を実施しました。

2月9日、宿泊や農産物加工体験と物産館とが機能を相互に補完し、観光産業情報発信と観光集客を目指す、上川管内美瑛町の道の駅びえい「丘のくら」を視察しました。美瑛町を訪れる年間100万人以上の観光客の大半が通過型であるという課題に対応した施設づくりが行われており、滞在型観光への転換を図るため、平成15年から2カ年計画で宿泊機能を有する体験施設として建設された「ふれあい館ラヴニール」に「丘のくら」は併設されており、観光客を市街地へ誘導し、特産品開発、販売をおし、地域の食文化紹介や人的交流を図る「物産館丘のくら」が整備され、平成19年4月からは道の駅「丘のくら」として運営されています。指定管理者制度を活用しての施設運営効率化や宿泊部門の運営をJRグループのターミナルホテルに委託し、宴会施設を持たない施設として調理部門の経費削減に努めて

【施設概要】

施設名称	宿泊・体験施設「ふれあい館ラヴニール」	物産販売施設「丘のくら」
施設運営管理	美瑛町（直営）	有限会社美瑛物産公社（指定管理）
施設整備期間	平成15～16年度	平成17年度・19年度
施設整備総事業費	5億5,780万円	1億2,709万円
活用補助事業名	新山村振興等農林漁業特別対策事業	地域間交流施設整備事業
施設規模	鉄筋コンクリート造2階建 1,124㎡	木造2階建 478㎡

同日午後、旭川工業団地内にある「上原ネームプレート工業株式会社」が開設、運営しているイチゴ栽培ハウスを視察しました。

工場内の空調排熱を利用した園芸ハウスで、温度を23度ほどに保つことができ、暖房機を補助的に利用する程度で暖房費を低く抑えられる施設環境の利点を活用しており、通常、ハウス栽培の暖房経費は、灯油1リットル60円程度が採算ラインとのこと、排熱同様、温泉熱を利用すれば生産コスト低減に効果があるとの情報を得られました。イチゴハウスの施設設計や生産指導を担当する「株式会社グリーンシステム」によると、化石燃料価格が上昇傾向で、施設園芸農業では利益率の



イチゴ栽培ハウスにて

高いミニトマト、サヤエンドウ、イチゴなどの栽培が注目されていると情報提供がありました。上原ネームプレート工業株式会社では、企業間連携によるイチゴのシャベット加工研究への取組や、旭川農業高等学校の協力によるイチゴジャムの長期保存研究など付加価値を高める試みを行っている。本町芝桜公園の温泉熱利用方策として「ハウス栽培」が検討されていることから、有意義な情報を得られました。

2月10日、北海道農業の将来展望に関する情報収集と農業温室視察のため、浦臼町「神内ファーム」にある「北海道農業企業化研究所」を訪問し

本視察調査は、藻琴山芝桜公園の温泉熱利用に関する理事者側の提案に対し、各委員の熱心な議論の中で温泉熱活用実践例のある現地で情報収集し、さらに議論を高める目的で実施しました。今回得た知識等を踏まえ、今後の町の発展と住民生活の安定に向け、自ら積極的に住民の声を聞き、課題に取り組みするための努力を続けなければならぬと考えています。

委員会活動レポート

議会には常任委員会や特別委員会、議会運営委員会といった委員会が設置され、議会の閉会中も所管する事案等の調査、協議検討などを行っています。

※主な内容をお知らせします。

- 総務文教厚生常任委員会
 - (1)平成22年度 第16回委員会（2/22）
 - 一般廃棄物最終処分場の浸出水処理施設を修繕
 - 税の不納欠損処分
 - 老人保健特別会計を廃止
 - 老人医療費の助成廃止
 - 出産育児一時金の基本額「39万円」が恒久的に
 - 旧藤田病院（網走市）医療費不正受給額などの不納欠損処分
 - 平成23年6月1日から東藻琴市街地区巡回バス運行を廃止
 - (2)平成22年度 第17回委員会（3/9）
 - 子宮頸がんワクチンの不足
 - ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン同時接種後の死亡報告による接種一時見合わせ
 - 議会閉会中の委員会による懸案事項調査
 - 国などへ提出要請のあった陳情内容の調査
 - (3)平成23年度 第1回委員会（4/19）
 - 本町における東日本大震災被災地等の支援内容
 - 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定スケジュール
 - ファミリーサポート事業の利用状況など
 - 町民会館の運用に関する事項
 - 戸籍事務電算化の事業スケジュール
 - 平成22年度ふるさと応援寄付金の採納・活用状況
 - 女満別小学校建設工事（体育館）に係るスケジュール
 - 女満別高校町外通学者の住環境整備支援



町外通学者向け寄宿舎看板

- 産業建設常任委員会
 - (1)平成22年度 第18回委員会（2/23）
 - まちづくり住民懇談会の活動経過
 - 大空町都市計画マスタープランの内容調査
 - 町道の認定及び廃止
 - (2)平成22年度 第19回委員会（3/9）
 - 議会閉会中の委員会による懸案事項調査
 - 国などへ提出要請のあった陳情内容の調査
 - (3)平成23年度 第1回委員会（4/22）
 - 耐震改修促進計画の内容
 - 都市計画マスタープランの内容
 - 平成23年度の建設工事等の発注見通し
 - 除雪作業車両による交通事故発生等の内容
 - 芝桜公園の整備計画
 - 住宅リフォーム事業に関する申請状況、今後の対応
 - まちづくり住民懇談会の活動経過

「請願陳情をされる方へ(書式)例」

(表紙)	(内容)
○○○○○○○○○に関する 請願書 (陳情書) 紹介議員○○○○○◎	○○○○○○○○○に関する請願(陳情) 要旨 ○○○○○○ 理由 ○○○○○○ ○○○○○。 平成 年 月 日 大空町議会議長 様 大空町○○○○○ ○○○○○◎

※請願には紹介議員が必要ですが、陳情に紹介議員は不要です。

【お問い合わせ先】
大空町議会事務局
0152-74-2111(内線266)

- 総務文教厚生・産業建設合同常任委員会
 - (1)平成22年度 第3回合同委員会（2/22）
 - 第16回総務文教厚生・第17回産業建設常任委員会
 - 国の「地域活性化交付金」による実施事業内容など
 - 女満別ゴルフコース開業10周年記念事業の概要
 - 平成22年国勢調査速報値
 - 障がい者福祉施設整備の事業概要
 - 農業委員選挙における選挙区の廃止
 - 議会基本条例策定特別委員会
 - (1)平成23年度 第2回委員会（5/20）
 - 大空町議会基本条例案を検討



旧東藻琴国保診療所

要望意見書

地域医療存続のための医師確保に関する要望意見書（3/15定例会）

医師不足の現状は、抜本的解決がなされないまま深刻な社会問題となっており、閉鎖に追い込まれる診療科や病院だけでなく、地域医療が崩壊する危機的な状況も生じています。

平成16年に始まった「新医師臨床研修制度」により医師の地域偏在が進み、地方で勤務する医師の不足が深刻な状況になっており、医師不足からくる過酷な勤務状況であるとともに、出張医勤務に多額の費用を要して病院経営が非常に困難な状況にあることから、早急な解消対策が求められています。

住民の安全と安心を確保するために、救急医療を初めとする地域医療体制の整備に当たり、何よりもまず安定した医師の確保が必要になってきます。

以上のことから、政府においては、地方の医師不足と医師の偏在を解消し、安心できる地域医療体制が存続できるよう、次の施策について緊急に措置を講じるよう強く要望します。

記

医師不足の解消や、地域ごと・診療科ごとの医師偏在の是正を図るため、医師臨床研修において医師の技術習得はもとより「医は仁術」という医療の基本を習得することを期し、医師不足地域での数年間の勤務義務など、医師派遣体制を構築する法的措置を講じること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫
内閣総理大臣 菅 直人 総務大臣 片山 善博
厚生労働大臣 細川 律夫

編集後記

テレビには「視聴率」というものがありますが、議会だよりにも「購読率」ともいうものがあるが、町民の皆様の反応がわかって良いのですが、編集しているものとしては、少々歯がゆさを感じております。

議会の「知らせる義務」そして、町民の「知る権利」そんな考え方から、議会だよりが発行されるようになったのだらうと思います。

議会の全部ではなく、一部でしか表せないものか、しきもありませんが、限られた紙面という制約があるのが現実です。

「議会情報の共有」と「町民の町政への参加」は大変重要なまちづくり＝住民自治の実現の鍵を握っており、避けて通れないものです。町民の皆様のお声をお寄せ下さい。何を知らたいか、何を望むか、何が問題か。どんな、ささいなことでも結構です。町民の皆様にご覧にいただけるような紙面づくりに努めてまいります。

議会広報編集特別委員会
委員 田好博
TEL: 74-2111
(内線266・議会事務局)

その他議会活動の状況等

【定住自立圏形成協定調印式】

3月23日、網走市議会委員会室において、網走市との定住自立圏形成協定が締結されました。今後『定住自立圏共生ビジョン』が策定され、具体的な取組がなされていく予定です。



【札幌大空町東藻琴会ふるさとのつどい】

4月16日、札幌市やその近郊に在住の旧東藻琴村出身、また、縁のある方々による札幌大空町東藻琴会（小島忠和会長）ふるさとのつどいが開催され、本町議会を代表して後藤議長・田中副議長が出席しました。

【湖水開き安全祈願祭・芝桜まつりオープニングセレモニー】

春の訪れとともに、今後迎える観光シーズンを控え、5月1日に網走湖女満別湖畔において『湖水開き安全祈願祭』が、5月3日には東藻琴芝桜公園において『芝桜まつりオープニングセレモニー』が開催されました。



東日本大震災の被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます

去る3月11日、「東日本大震災」が発生しました。本町では大きな被害にこそなりませんが、非常に長い時間の揺れが感じられました。

地震・津波の直接的被害、さらには東京電力福島原子力発電所の放射性物質の影響問題など事態終息のめどが立たず、連日のようにテレビや新聞に取り上げられています。自然災害の恐ろしさを目の当たりにすると同時に、万が一のときの「危機管理」の大切さを再確認した次第です。

3月24日、大空町議会議員会（田中勝吉会長）として、被災された皆様のために役立ててほしいとの思いから、義援金12万円を川口副町長へ手渡しました。

被災にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を、心から願ってやみません。



議会だよりへの御意見・御要望を募集します!

「議会広報編集特別委員会」では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。

多くの住民の皆さんに御覧いただくため、また、住民の皆さんの声を多く取り入れるため「こういった内容を取り上げられないか?」「こういう紙面構成にしてみてもいい?」など、どのようなことでも構いません。皆さんの御意見・御要望をどんどんお寄せください。お待ちしております。

【お問い合わせ先】〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111 (内線266)

議会日誌

平成23年2月22日～平成23年5月24日

【平成23年】

- 2月22日 第11回議員協議会
第16回総務文教厚生・第17回産業建設合同常任委員会
第16回総務文教厚生常任委員会
- 23日 第18回産業建設常任委員会
- 3月1日 女満別高等学校第57回卒業証書授与式
東藻琴高等学校第55回卒業証書授与式
- 2日 第13回議会運営委員会
- 8日～15日 平成23年第1回定例会
- 9日 定住自立圏形成協定調査等特別委員会
第17回総務文教厚生常任委員会
第19回産業建設常任委員会
- 10日 第14回議会運営委員会
- 10日・11日・14日 予算審査特別委員会
- 14日 第16回議会広報編集特別委員会
- 15日 女満別中学校第40回卒業証書授与式
東藻琴中学校第64回卒業証書授与式
- 16日 大空町5周年記念「町民舞台」実行委員会
- 18日 女満別小学校第47回卒業証書授与式
東藻琴小学校第64回卒業証書授与式
- 20日 大空町文化団体協議会表彰式・第2回文団協まつり
- 22日 大空町教育懇話会
- 23日 定住自立圏形成協定に係る調印式（網走市）
- 24日 豊住小学校第64回卒業証書授与式
女満別建設業協会第49回通常総会
- 27日 大空町東藻琴商工会メモリアル・セレモニー
- 31日 商工会合併記念セレモニー
- 4月3日 大空町手をつなぐ育成会平成23年度定期総会
- 6日 女満別小学校入学式、東藻琴小学校入学式
豊住小学校入学式、東藻琴中学校入学式
大空町女満別農民協議会第53回定期総会
- 7日 女満別中学校入学式
北網ブロック町議会事務局長会議（大空町）
- 8日 第61回女満別高等学校入学式
女満別町農業協同組合第63回通常総会
- 11日 第59回東藻琴高等学校入学式

- 12日 オホーツク町村議会事務局長会議（佐呂間町）
- 16日 札幌大空町東藻琴会ふるさとのつどい（札幌市）
- 19日 平成23年度大空町ことぶき大学入学式・進級式
東藻琴観光協会第39回通常総会
第1回総務文教厚生常任委員会
- 22日 第1回産業建設常任委員会
- 26日 第1回議会運営委員会
- 28日 第2回議会運営委員会
平成23年第1回臨時会
第82回メーデー大空集会
- 5月1日 「湖水開き」安全祈願祭
- 3日 芝桜まつりオープニングセレモニー
- 9日 第2回産業建設常任委員会
- 11日 第1回議会広報編集特別委員会
- 14日 平成23年度大空町商工会青年部通常総会
- 16日 オホーツク町村議会議長会定期総会（遠軽町）
- 17日～18日 全国町村議会議長会正副議長研修会（東京都）
- 17日 第2回議会広報編集特別委員会
- 19日 平成23年度大空町商工会通常総会
- 20日 第2回議会基本条例策定特別委員会
- 23日 NPO法人めまべつ観光協会第7期通常総会
- 24日 第3回議会広報編集特別委員会
大空町交通安全防犯推進委員会総会

〒090-3392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号 TEL.0152-742-111 FAX.0152-742-191

発行／大空町議会
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／株式会社須田製版

議会の傍聴はお気軽に！

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会は、6月21日(火)から

開かれる予定です。

東日本大震災チャリティ「でかどら」

限定価格1,500円

うち1,000円は直接募金箱へ！
皆様の御協力をお願いします。



東北と一緒に **がんばろう日本!!**



- 「生どら焼」人気のある定番商品です！
 - 「チーズ小僧」第23回全国菓子大博覧会【食糧庁長賞受賞】
 - 「おやき」催事・イベントのみの限定販売です。
- そのほか、各種取り揃えております。
※地方発送も承ります。

「お客様の笑顔は美味しさの証です！」

(有)すかの商店

菓子製造・小売 LPG販売

大空町東藻琴353番地 ■営業時間/AM8:30～PM6:30 ■定休日/毎週日曜日
TEL.0152-66-2723 FAX.0152-66-3659

UD FONT



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。また環境にやさしい大豆インキを使用しています。